２０２３年度

事　業　報　告　書

社会福祉法人　穂波学園

障がい者支援施設　笠置寮

２０２３年度　障がい者支援施設笠置寮　事業報告

【職員数】

	定数	２０２３．４	２０２４．３
施設長	1	1	1
サービス管理責任者	3	3	3
支援員	４７	５０（1）	５１
看護師	1	7	6
管理栄養士	1	1	1
栄養士	1	2	1
調理員	１以上	９（３）	８（３）
事務員	1	3	3
合計	５６	７４（４）	７４

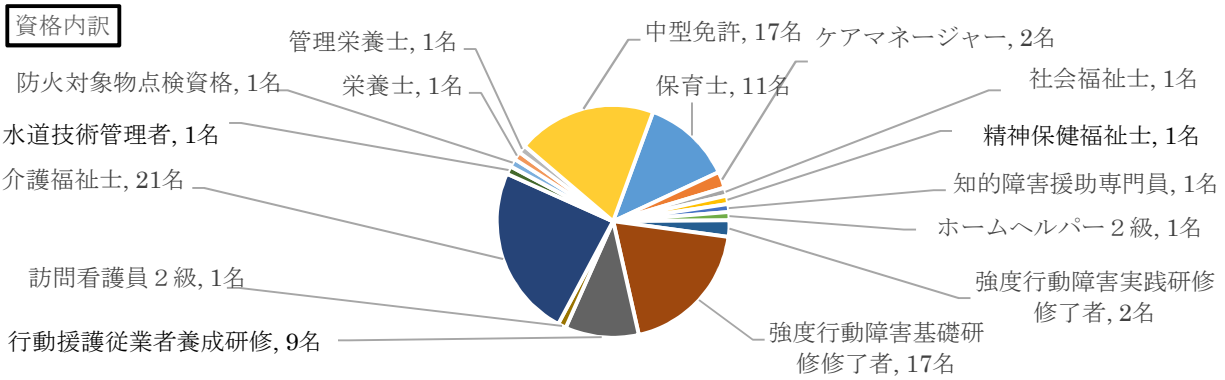
※（　　）内はパート職員　　２０２３年３月３１日現在

【資　格】

ケアマネージャー	２名	水道技術管理者	１名
社会福祉士	１名	第二種電気工事士	１名
精神保健福祉士	１名	中型免許	１７名
介護福祉士	２１名	防火対象物点検資格	１名
知的障害援助専門員	１名	栄養士	１名
ホームヘルパー２級	１名	保育士	１１名
訪問看護員２級	１名	管理栄養士	１名
強度行動障害実践研修修了者	２名	強度行動障害基礎研修修了者	１７名
行動援護従業者養成研修修了者	９名		

２０２３年３月３１日現在

資格内訳



【主な実施事業】

１．施設入所支援
２．生活介護
３．短期入所

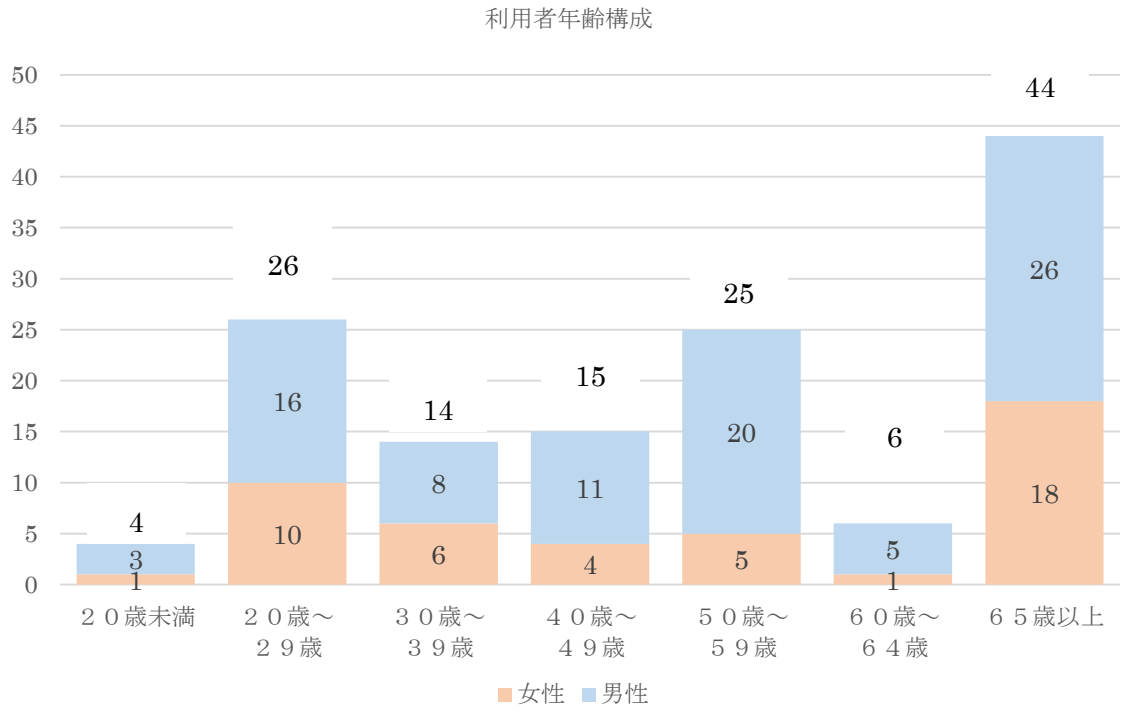
１．　施設入所支援（定員：１４０名）

	２０２３．４．１現在	２０２４．３．３１現在
契約者数	１３５	１３４

(1)　利用者年齢構成

	２０歳未満	２０歳～２９歳	３０歳～３９歳	４０歳～４９歳	５０歳～５９歳	６０歳～６４歳	６５歳以上	合計
男性	３	１６	８	１１	２０	５	２６	８９
女性	１	１０	６	４	５	１	１８	４５
合計	４	２６	１４	１５	２５	６	４４	１３４

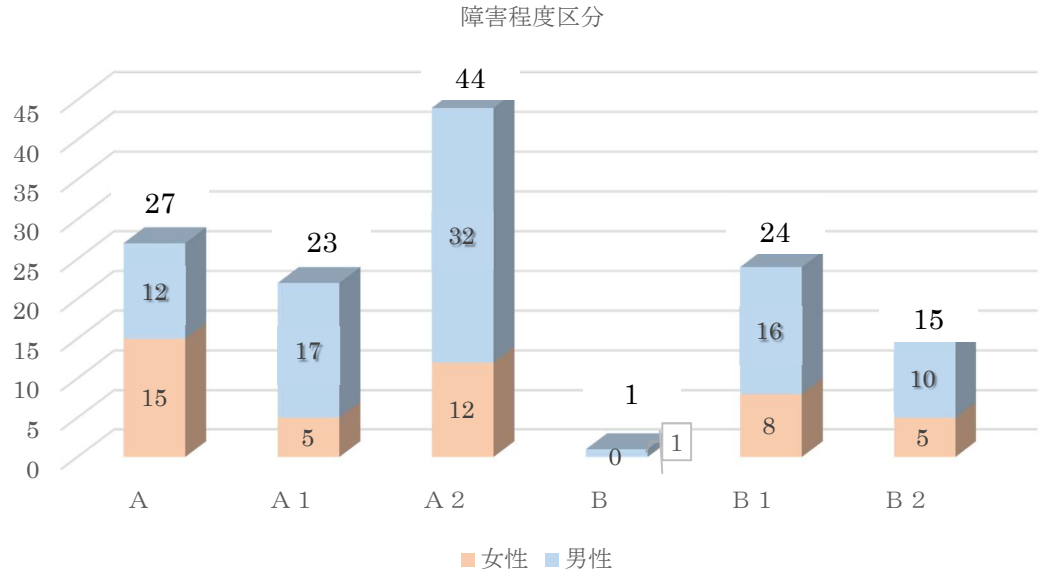
２０２４年３月３１日現在



平均年齢　４９歳（男性４９歳・女性５０歳）
最高年齢　７６歳　　最少年齢　１８歳

(2)　障害程度区分（療育手帳）

	A	A 1	A 2	B	B 1	B 2
男性	１２	１８	３２	1	１６	１０
女性	１５	5	１２	0	8	5
合計	２７	２３	４４	1	２４	１５



(3)　障害支援区分

	区分４	区分５	区分６
男性	1	１３	７５
女性	1	2	４２
合計	2	１５	１１７

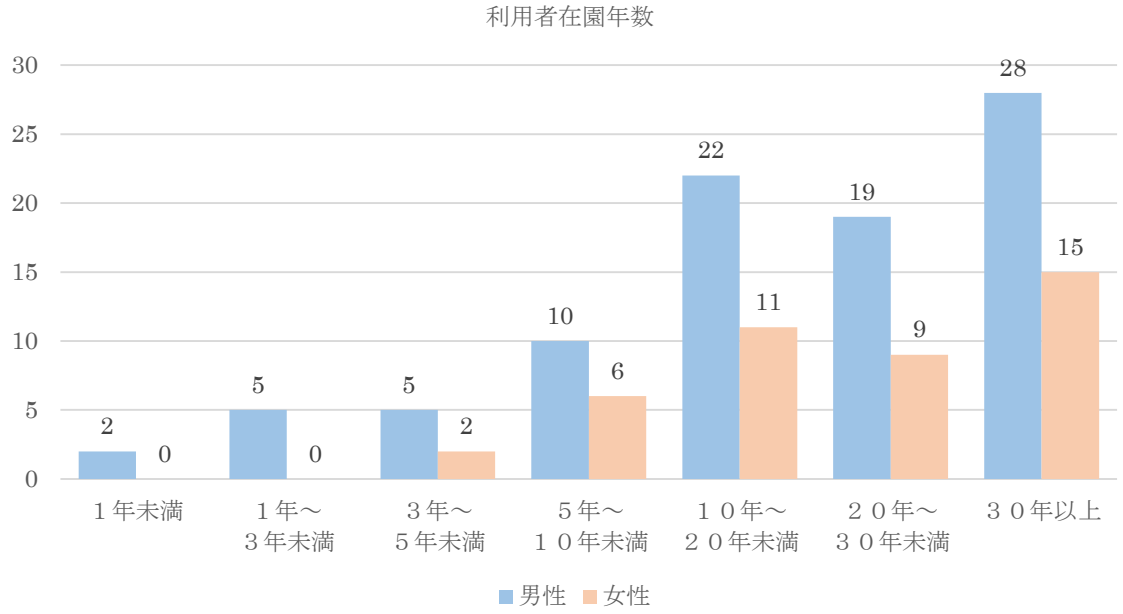
２０２４年３月３１日現在

平均支援区分　５．８（男性５．７・女性５．９）

(4)　施設利用年数

	１年未満	１年～ ３年未満	３年～ ５年未満	５年～ １０年未満	１０年～ ２０年未満	２０年～ ３０年未満	３０年以上
男性	２	５	５	１０	２２	１９	２８
女性	０	０	２	６	１１	９	１５
合計	２	５	７	１６	３３	２８	４３

平均在籍年数　２３年（男性２３．５年・女性２３．９年）
最高在籍年数　５７年



(5)　支援市区町村

		男性	女性	合計			男性	女性	合計
福岡市	中央区		1	1	北九州市	小倉北区	2	2	4
	博多区	1		1		小倉南区	3		3
	城南区	1	1	2		戸畑区	1	1	2
	東区	2	1	3		門司区	2	2	4
	西区	4		4		八幡東区	5	1	6
	南区	1	1	2		八幡西区	7	3	１０

福岡県	行橋市	1	1	2
	宮若市	3	1	4
	うきは市	3		3
	大川市	1		1
	飯塚市	１３	9	２２
	糸島市	2	4	6
	古賀市	1		1
	嘉麻市	7	1	8
	大野城市	1		1
	直方市	1	2	3
	田川市	1		1
	筑後市	2		2
	宗像市	2	1	3
	福津市	2	1	3
	中間市	3		3
遠賀郡	水巻町	2	2	4
	遠賀町		2	2
嘉穂郡	桂川町	1	1	2

田川郡	川崎町	1	1	2
	糸田町	1		1
	添田町	1	1	2
	香春町	1		1
長崎県	雲仙町	1		1
鞍手郡	鞍手町	2	1	3
	小竹町	1		1
京都郡	苅田町	1		1
築上郡	築上町	1		1
糟屋郡	宇美町	1	1	2
	新宮町		1	1
	篠栗町	1		1
三潴郡	大木町	1		1
佐賀県	伊万里市	1		1
兵庫県	明石市		1	1
大分県	杵築市	1		1

(6)　利用契約開始・解除状況

	利用契約開始		利用契約終了（終了後の行き先）		利用者総数
	男性	女性	男性	女性	合計
４月	2	0	0	0	１３５
５月	0	0	0	0	１３５
６月	0	0	0	0	１３５
７月	0	0	１（病院にて死去）	１（障がい者支援施設）	１３３

８月	０	０	１（病院にて死去）	０	１３２
９月	０	１	０	０	１３３
１０月	０	１	０	０	１３４
１１月	０	０	０	０	１３４
１２月	０	０	０	０	１３４
１月	０	０	０	０	１３４
２月	０	０	０	０	１３４
３月	０	０	０	０	１３４

生活介護（定員：１４０名）

	２０２３．４．１現在	２０２４．３．３１現在
契約者数	１３５	１３４

利用者様の希望・特性等を考慮し、第１活動場、第２活動場、第３活動場、介護センター、農業科、生活の活動場で、利用者様により合った活動を提供してきた。健康管理や機能訓練にも力を入れ、低下を防ぐための運動や個別のトレーニングも行う。

短期入所・日中一時（定員：短期入所２名）

	４月	５月	６月	７月	８月	９月	１０月	１１月	１２月	１月	２月	３月
営業日数	３０	３１	３０	３１	３１	３０	３１	３０	３１	３１	２９	３１
定員	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2
延べ人数	１１	7	１０	9	１３	１２	３０	１４	１６	１０	１１	１６

【行事実施状況】

月　日	行　事　名
４．１０	第６１回開園記念式典
４．３０	第２回福岡県障害者スポーツ大会

８．　２ ３	映画外出	
９．３０	第５９回学園祭	
１０．　７	防災フェスタ・学園祭お疲れ様会	
１０．１７ １８ １９ ２０	食事外出（すたみな太郎）	
１０．１８	花火会	
１２．１２ １３ １４ １５	買い物外出（飯塚市内）	
１２．２３	マラソン記録会・ 立ち食いうどん・ 学園コンパ	
１．　１	年賀式	
１．　７	二十歳を祝う会（２名）	
２．１０	巻物フェア	

２．１９ ２０ ２２	食事マナー外出（神戸クックワールドビュッフェ）
３．２３	花見遠足

【健康管理】

＜健康診断状況＞

月　日	検診名	月　日	検診名
４．　５	利用者内科検診	１０．　４	利用者歯科検診（男子）
４．　６	利用者健康診断（男子）	１０．　５	利用者内科検診
４．　７	利用者健康診断（女子）	１０．１１	利用者歯科検診（女子）
４．１２	利用者歯科検診	１０．１２	利用者眼科検診
４．１３	利用者眼科検診	１０．１９	利用者健康診断（男子）
４．１９	利用者歯科検診	１０．２０	利用者健康診断（女子）
４．２０	利用者耳鼻科検診	１０．２６	利用者耳鼻科検診
５．１２	職員健康診断	１０．２７	インフルエンザ予防接種
５．１７	職員健康診断	１１．１０	職員健康診断
６．　８	新型コロナワクチン接種（６回目）	１１．１４	職員健康診断
		１１．１７	新型コロナワクチン接種（７回目）

今年度の通院状況として白内障で手術を受けた方が 3 名、精神科は内服薬が新たに開始された方が 1 名、調整が行われた方が 8 名おられた。入院者は右肺がんの手術の為 4/25 から手術を含み 3 日間入院し退院されたがその後、術後合併症で 5/10 から 50 日間入院されその後逝去された 69 歳男性。左橈骨遠位端骨折・左鎖骨骨折の為、5/1 から手術を含み 45 日間入院された 68 歳女性。虫垂炎の為、5/12 から手術を含み 4 日間入院された 19 歳男性。脊柱管狭窄症・第 4 腰椎すべり症・腰椎 2.3 番目ヘルニアの為、5/16 から手術を含み 29 日間入院された 76 歳男性。肺炎の為、6/7 から 36 日間入院された 71 歳女性(入院されたまま他施設へ入所となる)。8/15 脳梗塞・脳浮腫の為、入院され同日逝去された 33 歳男性。S 状結腸軸捻転の為、11/13 から 4 日間入院された 50 歳男性。心嚢液貯留・心タンポナーデで 12/18 から 11 日間入院された 73 歳女性。状況性失神の為、1/31 から 8 日間入院された 75 歳女性。副鼻腔炎の為、3/7 から 12 日間入院し一旦、退院されたが、その後感染症による低体温を起こされ、3/22 から入院され 3/31 現在も入院されている 65 歳男性(それぞれ県、市町村へは連絡済み)がおられた。

徐々に利用者様の高齢化も進み、入退院が増加傾向にあり(上記参照)、現病が原因の場合や新たに発

覚した疾病など入院理由は様々である。体調不良の訴えが難しい利用者様も多く居られる為、支援員が常に利用者様の状態を把握し関連部署と情報共有しながらの健康管理を共に行っている。

2023 年 5 月 8 日に新型コロナウイルス感染症の位置付けが 2 類から 5 類へと変更になり、巷では少しずつマスクの非装着等さまざまな制限の緩和が行われる中、当施設では引き続き感染予防として 5 類変更後も職員のマスク着用や消毒液を配布し公私で使用してもらい、職員一人ひとりが感染源とならないよう以前と同様の対策を講じている。また、利用者様も園内でのマスク着用と通院など外出する際にはディスポーザブルマスクへ変更してもらい通院後は廃棄し感染対策をおこなっている。また引き続き公用車の消毒も行い、園内へウイルスを持ち込まないよう徹底している。

【献立会議】

毎月会議を行い、その中で話し合った国内外のご当地料理や各寮リクエストメニューを取り入れてきた。嗜好調査、残食調査を行い、日々の献立に反映してきた。食育として、園内で収穫した野菜を献立の中で取り入れ、食育を行った。

【苦情等】

苦情・要望件数は３月３１日現在で０件だった。

【虐待防止委員会】

２０２３年度は４月６日・８月９日・１２月６日に開催される。虐待が疑われる件数は０件であった。２月１０日に第三者委員で元福岡県精神保健福祉協会事務局長である紫牟田氏を講師として園内で虐待防止研修会を行う。毎年行っている職員全員の虐待防止職員セルフチェックを基に会議を行う。１２月７日には第三者委員会を開催し、今後の研修の在り方等の話し合いをする。

【身体拘束適正化検討委員会】

毎月のケア会議において、身体拘束が行われたか、またはその必要がある事例はあるかの確認を行ってきた。８月３日・５日で全職員を対象に身体拘束適正化についての研修を行う。今年度は８月９日には身体拘束適正化検討委員会を開催し、身体拘束は行わずに済んだことを確認するとともに、あらためて身体拘束ゼロを継続することを目指すことを確認する。

【地域貢献・交流事業】

※　近くの神社（大谷神社、石道神社）の行事前清掃。

※　敬老の日やクリスマスには近隣の高齢者宅を訪問し、安否確認と共に要望等を聞くが特にはなく、感謝の言葉をいただく。

※　大学、短期大学の実習受け入れ。

※　九州北部豪雨により土砂災害の被害を受けた田主丸町にある障がい者支援施設の災害復旧の応援に行く。

※　飯塚市社会福祉法人地域公益活動連携協議会に参加。その要請により九州北部豪雨による東峰村災害復旧ボランティアに参加。

※　土砂災害被害にあった障がい者支援施設に呼びかけ、昼食と入浴の場を提供し、疲れた心と体をいやしてもらう。

※　毎月、施設周辺の道路の清掃を全職員で行う

【安全衛生推進委員会議】

毎月開催し、利用者様の安全面・健康面・衛生面や園内環境美化の計画、避難訓練の反省等について話し合いを行う。安全運転強化のためのアルコールチェックを行った後の確認を強化し、運転前後共にチェックを行い、確認者を記録することにより安全運転の意識を高めてきた。２０２４年１月１日に起きた能登半島地震のように、大規模災害の危険を警戒し、ＢＣＰに基づいての訓練や研修を行い災害に備えてきた。

＜避難訓練実施状況＞

月　日	火　災　避　難　訓　練	そ　の　他　の　避　難　訓　練
４．２６	希望台みこし倉庫出火想定	
５．２４	穂波寮職員室出火想定	
６．２７	笠置寮浴室附近出火想定 17：10～	土砂災害風水害想定避難訓練 16：58～
７．２８	第２活動場１階附近出火想定	
８．２１	まどか園うさぎ組附近出火想定	
９．２２	睦寮書庫附近出火想定	
１０．２７	第１活動場職員室附近出火想定	
１１．　４	給食センター附近出火想定	
１１．２５		不審者対応訓練
１２．２６	笠置寮洗濯場附近出火想定	
１．１６	穂波寮夜勤室附近出火想定	
２．２４	まどか園給食室附近出火想定	
３．２９	給食センター倉庫附近出火想定 13：10～	地震想定避難訓練 13：55～

【研修・出張の実施状況・施設外】

月　　日	研　　修　　名	開催地	参加数
６．１４ １６	社会福祉施設役職員研修（中堅職員研修）	Web	1
６．２０	権利擁護に関する合同研修	Web	1
７．　６ ～　７	九州地区知的障害関係施設職員研修大会（長崎大会）	長崎県	4
７．１８	飯塚市社会福祉法人地域公益活動連携協議会全体会	飯塚市	1
７．１９	新任職員研修	春日市	2

７．２７	福岡県サービス管理責任者または児童発達支援管理責任者更新研修	Web	１
８．　２	福岡県サービス管理責任者または児童発達支援管理責任者更新研修	Web	１
８．２９ ９．２６	権利擁護に関する合同研修	福岡市	１
１０．１９ ２０	筑豊京築地区児童福祉施設長・事務給食研修	長崎県	１
１０．２６	自衛消防隊教育	嘉麻市	２
１０．２７	感染予防研修会	Web	１
１１．　７	心の健康づくり大会	飯塚市	２
１１．２４	豊徳会研修会	福智町	２
１２．１１	九州ブロック再犯防止シンポジウム	福岡市	１
２．２６	障がい児（者）施設　口腔ケア支援研修会	Web	２
	福岡県障がい者虐待防止・権利擁護指導者研修（虐待防止マネージャーコース）	春日市	１
３．２７ ２８	県公認指定事業者による強度行動障害基礎研修	飯塚市	１７

【社会福祉法人穂波学園法人内研修】

月　　日	研　　修　　名	参加数
４．１３	新任研修（障がい者支援及び虐待防止・ハラスメント・身体拘束適正化・感染症対策・防災）	６
５．３１	ＢＣＰ研修（衛生）	全員
８．　３	新任研修（障がい者支援及び虐待防止・ハラスメント・身体拘束適正化・感染症対策・防災）	３
８．２３ ３０	身体拘束適正化研修	全員
１０．　７ １３	ＢＣＰ研修（防災）	全員
１０．１１	考課者フォローアップ研修	２２
１０．１２	給与改定・処遇改善加算に伴う解説	５４
１０．１３	新任（中途）採用者基礎研修・新考課者基礎研修	７
１１．　４	ハラスメント研修	全員

１１．２５	ＢＣＰ研修（衛生）	全員
２．１０	虐待防止園内研修	全員
２．２９ ３．　８	栄養管理について	全員

【クラブ活動】

現在、陸上・女子バレーボール・グラウンドゴルフ・薫風太鼓・エアロビクスの５つのクラブ活動を個人の希望に応じて参加している。今年度は各クラブとも大会に出場することもでき、優秀な成績を修めるとともに交流をすることが出来た。

月　日	大　会　名	場　所	結　果
４．３０	第２回福岡県障がい者スポーツ大会（１４名参加） 	久留米市	１００Ｍ　金　２名 ２００Ｍ　金　２名 銀　２名 ４００Ｍ　金　１名 銀　１名 ８００Ｍ　金　２名 銀　１名
５．１２	福岡県知的障がい者福祉協会 第８回グラウンドゴルフ大会（３チーム参加） ※第３８回九州地区知的障害者施設親善球技大会 グラウンドゴルフ競技鹿児島大会に選出	福岡市	優勝　　笠置寮Ｃ ２位　　笠置寮Ａ ３位　　笠置寮Ｂ
６．　３ ～　５	特別全国スポーツ大会燃ゆる感動かごしま大会 リハーサル大会（バレーボール競技：６名参加） ※特別全国障害者スポーツ大会九州ブロック代表選出	鹿児島県	優勝
９．　２ ～　３	第２５回下関市知的障害者 親睦バレーボール大会（６名参加） 	下関市	４位

１０．１４	フクオカ・パラスター・　F-STAR 	飯塚市	１０名参加
１０．２６ ～３１	特別全国スポーツ大会燃ゆる感動かごしま大会 知的バレーボール競技（６名参加） 	鹿児島県	１回戦敗退
	特別全国スポーツ大会燃ゆる感動かごしま大会 知的陸上競技（５名参加） 		１００Ｍ　８位 ２００ｍ　３位 ６位 ７位 ４００ｍ　１位 ４位 ５位 ８００Ｍ　８位 ４×１００ＭＲ　３位
１１．　５	飯塚市幸袋交流センター「まつり幸袋」　太鼓演奏 （１０名参加） 	飯塚市	薫風太鼓
１１．１１ ～１２	第２８回日本ＩＤ陸上競技選手権大会（７名参加） 	香川県	【決勝結果】 １００Ｍ　４位 ４×１００ＭＲ　１位 ４位 ４×４００ＭＲ　１位 ６位
１１．１８ ～２０	第３８回九州地区知的障害者施設親善球技大会 グラウンドゴルフ競技鹿児島大会（１０名参加） 	鹿児島県	優勝　笠置寮Ａ ２位　笠置寮Ｃ

【衛生管理】

今年度も例年同様に循環浴槽は利用者様が安心して入浴が出来るようバイオフィルム形成の阻止、菌の増殖抑制のため、週 1 回の清掃、消毒、完全換水を行っている。食事提供では HACCP(食の安全を確保するための管理手法)に基づいて当施設の管理栄養士の指示の下、食材の選定・適切な保存方法・調理の過程・提供までの各工程で行なわれる衛生管理を調理に携わる職員が周知して確実に執り行い、安全な食事提供に繋げている。

5 月 8 日に新型コロナウイルス感染症の位置付けが 2 類から 5 類へ変更となったが、当施設ではコロ

ナ禍と変わらず手指衛生や身体・公用車・居室、共有場所などの消毒を行ってきた。また、園内での感染症研修を年に３回実施し、職員ひとり一人が感染症への理解を深め、利用者様の支援にあたる際の適切な対応を身に付けてきた。

【寄贈】

- 保護者様より、メロン、米、ジュース、いちごをいただく
- 地域の方より餅米をいただく